

地域とのつながり、学年間・学校間の縦・横のつながりを意識した
「ふるさとみはま」を探究する学習



- ① 地域の課題解決に向け、できることを地域で実践
・空き家マッチングツアーで地域・物件の魅力を
プレゼン（6年）



- ② 学んだことを3校で交流
・校区の「お宝」を紹介し合う（3年）



- ③ 学んだことを地域にアピール
・シナプスプロジェクト（町イベント）への参加
（3～5年）



- ④ 「ふるさとみはま」をみんなで考える
・ふるさと美浜元気フォーラムの開催

(様式)

令和6年度「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

令和6年12月3日

団体名 ふるさと美浜元気プロジェクト	代表校長名 美浜中央小学校 川畑 成央
--------------------	------------------------

1. 推薦理由

美浜町内の3つの小学校（美浜西小，美浜中央小，美浜東小）での総合的な学習の時間において、縦・横のつながりを意識したふるさと学習「ふるさと美浜元気プロジェクト」という取組を行っている。それぞれの学校で探究したことを3校で交流し合うことにより、ふるさとについての理解が各校区内だけにとどまらず、町全体の学習へと広がっている。また、1月には「ふるさと美浜元気フォーラム」を開催し、取組の成果を町民に対して発表する場を設けている。

2. 活動内容

（1）対象学年 美浜町内3小学校の3～6年 児童生徒数 計234名

（2）取組内容

①3年生 テーマ「美浜のお宝」

各校区の「お宝（名所や名物）」について探究している。身近な地域のよさやそれらに携わる人の想いや願いを知ること、地域への愛着を深めている。

②4年生 テーマ「みんなのしあわせ」

美浜町の福祉について探究している。福祉に携わる方や障がいをもっている方などから直接お話を聞きしたり交流会をもったりする中で、みんなが「しあわせ」になるために必要なことを考え、自分たちにできることを実践している。

③5年生 テーマ「美浜の課題解決」

各校区や美浜町の課題について探究している。課題解決に努力している人取材する中で、その方たちのふるさとを愛する気持ちを知り、課題解決への実践を行っている。

④6年生 テーマ「美浜の未来創造」

5年生で学んだ各校区や美浜町の課題についてさらに深め、その解決アイデアを考える学習を行っている。今年度は、地元NPO法人の方から、美浜町の空き家の現状、空き家対策の取組、空き家バンクの仕組みなどを教えていただき、空き家マッチングツアーにも参加した。

⑤ふるさと美浜元気フォーラム

各校、各学年のふるさと学習の成果を交流し合う場である。ふるさと学習でお世話になった方や町行政に関わる方々を招待し、大人も子どもと一緒にふるさとについて学んだり考えたりする場となっている。

3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）※3校合同での活動の主なもののみ記載

- | | |
|-------|---|
| 5月 | 3校の3～6年生が学年ごとにオンライン会議を行い、自己紹介と今後調査していく内容等の交流を行う。 |
| 6月23日 | 空き家マッチングツアーに各校区の6年生児童が参加。空き家にて地域や物件の魅力についてプレゼンテーションを行った。 |
| 7月17日 | 3校の6年生が町役場で各課への取材を行う。 |
| 10月8日 | 3校の3年生が、各校で調査した内容について、中間発表を行う。 |
| 11月3日 | 町のイベントであるみはまシナプスプロジェクトに3～5年生が参加。児童が作成した掲示物（町のお宝マップ）を掲示したり、会場で地域をPRするパンフレットを配付したりする等の活動を行った。 |
| 1月17日 | 3校の3～6年生が取組の成果を発表し合う「ふるさと美浜元気フォーラム」を開催予定。 |

4. 提出書類リスト

- ・6年生が空き家マッチングツアーに参加したときの写真・新聞記事①
- ・3年生が行った中間発表会の写真・新聞記事②
- ・シナプスプロジェクトに参加したときの写真・新聞記事③
- ・シナプスプロジェクトで5年生が配布したパンフレット④⑤⑥